

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
(仮称)宇治市学校給食センター整備事業

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 健康・安全・快適性								3.0	
1	音環境			3.2	0.15	-	-	3.2	
	1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	-	-		
	1.2 遮音			3.0	0.40	-	-		
	1 開口部遮音性能			3.0	0.60	-	-		
	2 界壁遮音性能			3.0	0.40	-	-		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-		
	1.3 吸音	壁と天井に吸音材を使用している		4.0	0.20	-	-		
2	温熱環境			2.3	0.35	-	-	2.3	
	2.1 室温制御			2.5	0.50	-	-		
	1 室温			3.0	0.38	-	-		
	2 外皮性能			1.0	0.25	-	-		
	3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
	2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-		
	2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-		
3	光・視環境			3.3	0.25	-	-	3.3	
	3.1 屋光利用			4.2	0.30	-	-		
	1 屋光率	屋光率4%		5.0	0.60	-	-		
	2 方位別開口			-	-	-	-		
	3 屋光利用設備			3.0	0.40	-	-		
	3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
	1 屋光制御			3.0	1.00	-	-		
	3.3 照度			3.0	0.15	-	-		
	3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-		
4	空気質環境			3.6	0.25	-	-	3.6	
	4.1 発生源対策			3.0	0.50	-	-		
	1 化学汚染物質			3.0	1.00	-	-		
	4.2 換気			3.6	0.30	-	-		
	1 換気量			3.0	0.33	-	-		
	2 自然換気性能	開口率0.07		5.0	0.33	-	-		
	3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	-	-		
	4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
	1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
	2 喫煙の制御	全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 社会・経済・環境									
1	機能性			3.4	0.40	-	-	3.4	
	1.1 機能性・使いやすさ			3.3	0.40	-	-		
	1 広さ・収納性			3.0	0.33	-	-		
	2 高度情報通信設備対応	OAコンセント容量43VA/m ²		4.0	0.33	-	-		
	3 バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-		
	1.2 心理性・快適性			2.6	0.30	-	-		
	1 広さ感・景観			3.0	0.33	-	-		
	2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース17%		4.0	0.33	-	-		
	3 内装計画			1.0	0.33	-	-		
	1.3 維持管理			4.5	0.30	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い内壁、床材を使用		5.0	0.50	-	-		
	2 維持管理用機能の確保	清掃用具の洗い場を設置し、安全な排水設備への経路を確保して		4.0	0.50	-	-		
2	耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0	
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.60	-	-		
	2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ALC+塗装40年、ガルバリウム35年		5.0	0.20	-	-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩化ビニル、ポリエチレン 排水:ポリ塩化ビニル 給湯:ステ		5.0	0.20	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性			2.4	0.20	-	-		
	1 空調・換気設備			1.0	0.20	-	-		
	2 給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-		
	3 電気設備			3.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.19	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.107	4.0	0.40	-	-	
3.2	荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	各階をケーブルラックでEPSを介して配線	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	各階をケーブルラックでEPSを介して配線	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	生物多様性(植栽)		-	0.37	-	-	2.3
1	生物環境の保全と創出	種の飛散に配慮し不稔性の植栽とした。根の深い植栽とすることで	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.68	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
	集合住宅以外の評価		2.7	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	0.20	-	-	3.0
4	効率的運用		3.0	1.00	-	-	
	集合住宅以外の評価		3.0	0.50	-	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
W	水資源確保		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	静音装置付き便器、泡沫キャップ付き自動水栓	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン、パークたい肥	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア、LGS+GB	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.3	0.20	-	-	2.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	-	2.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	-	1.0	0.50	-	-	
3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
ERS	地域環境への配慮						
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場利用者の利便性に配慮 他	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	-	3.0	0.33	-	-	
2	振動	-	3.0	0.33	-	-	
3	悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たし、広告照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

(仮称)宇治市学校給食センター整備事業

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	11.0	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0	-	2.0	2.0	-	1.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0	-	1.0	1.0	3.0	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC 0.7 窓の日射熱取得率(η) 0.6															
U値(W/m ² K) 窓システム 5.8 屋根 0.5 外壁 0.9 床 2.7															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -															
屋光率 4.0%															
自然換気有効開口面積率 7.0%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収容性															
執務スペース 6.5㎡/人 病床 0㎡/床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡															
コンセント容量 43.0 VA/㎡															
天井高 2.5 m															
リフレッシュスペース 17.0% レストスペース 0.0%															
想定耐用年数 0 年															
想定必要間隔 35 年															
想定必要間隔 0 年															
想定必要間隔 0 年															
想定必要間隔 0 年															
階高 4.19 m															
壁長さ比率 10.7%															
床荷重 - N/m ²															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
2 自然エネルギー利用															
3 設備システムの高効率化															
非住宅部分															
集合住宅の評価															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
3.2.1 消火剤															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
3.2.3 冷媒															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 29% 隣接関係指標Rw 2.12															
地表面対策面積率 12.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積Sb 380㎡ 卓越風向と直交する最大敷地面積Ws 80.59 m 基準高さHb 16.5 m															
緑地 952㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															